

● ニセ警察官詐欺

令和8年4月現在 ※黄色部分を更新

	リユーピーネット発信日	発生地区	被害者	手口	被害額等	事案詳細
1	R7.10.2	福井・坂井	50代女性	ニセ警察官詐欺 (電話)	現金98万円	被害者にニセ警察官から電話があり ・逮捕した犯人があなた名義のキャッシュカードを持っていた ・あなたが犯罪に関与した疑いがあり、逮捕状が出ている ・捜査協力費が必要 ・無実を証明するために、あなたの口座内の紙幣番号を調査する と言われ、現金を騙し取られたもの。
2	R7.10.7	福井・坂井	30代女性	ニセ警察官詐欺 (電話)	現金90万円	被害者にニセ警察官から電話があり ・あなたの口座が犯罪に利用されている ・あなたも犯罪に関与している疑いがある ・無実の証明のためあなたの口座のお金を確認する必要がある と言われ、現金を騙し取られたもの。
3	R7.10.20	福井・坂井	20代男性性	ニセ警察官詐欺 (電話)	現金86万円	被害者に県外の警察官や検察官を名乗る男性から電話があり ・「詐欺事件の犯人を逮捕したら、あなた名義のキャッシュカードが出てきた」「特例でリモートで事情聴取をする」と言われた ・その後、指定されたSNSのビデオ通話で「逮捕状が出ている」「資金調査をする必要がある」「持っている口座の残高を一つの口座にまとめ、全額を指定した口座に振り込んでください」 などと言われ、86万円をインターネットバンキングで送金したものの。
4	R7.10.22	丹南	30代男性性	ニセ警察官詐欺 (電話)	現金23万円	被害者にニセ警察官から電話があり ・詐欺グループを取り調べたらあなた名義の口座が見つかった ・あなた名義の口座には被害金9,000万円が入っている ・身の潔白を証明するためには資金調査が必要 ・指定した口座にお金を振り込め と言われ、現金を振り込んだもの。
5	R7.10.24	丹南	30代女性	ニセ警察官詐欺 (電話)	現金100万円	被害者にニセ警察官から電話があり ・捜査であなた名義のキャッシュカードが見つかった ・犯罪に加担している疑いがあるので出頭しろ ・逮捕されないためには資金調査が必要 ・指定口座にお金を振り込めば調べることができる などと言われ現金を振り込んだもの。
6	R7.11.6	福井・坂井	30代男性性	ニセ警察官詐欺 (電話)	現金448万円	被害者に県外の警察官を名乗る男性から電話があり ・「あなた名義の口座が勝手に作られ、その口座を利用して悪質なお金を回収している履歴がある。組織の3人があなたの事を仲間だと・言っている」などと言われた ・その後、誘導された無料通信アプリ上で逮捕状の画像を送りつけられ「あなたのお金を調査するため口座から残高すべてを送って下さい」と指示されたうえ、留置場で監視する代わりに最寄りのホテルに宿泊するよう指示された。 ・被害者は指示に従って3日間自宅近くのホテルに自費で滞在し、その間、8回にわたり5つの口座から計448万円を指定された口座に振り込んだ ・振り込む際はネットバンキングのほか、コンビニエンスストアのATMを利用するため外出したが、犯人の指示通り再びホテルに戻っており、被害者が帰宅しないことを心配した家族が警察に通報し、事件が発覚した。
7	R7.11.28	嶺南	70代女性	ニセ警察官詐欺 (電話)	キャッシュカード3枚 現金約200万円	被害者にニセ警察官から電話があり ・近所で詐欺被害が起きている ・名簿に旦那さんの名前がある ・新しく口座を作る必要がある と言われ、自宅に来た偽警察官に封筒に入れたキャッシュカード3枚を手渡したところ、別の封筒とすり替えられて盗まれ、翌日に現金約200万円が引き出されたもの。
8	R7.12.15	福井・坂井	70代男性性	ニセ警察官・ニセ通信業者 詐欺 (電話、SNS)	現金3060万円	被害者にニセ警察官から電話があり ・「あなたの口座を使って詐欺が行われ、逮捕状が出ている」と言われた ・その後SNSに誘導され、逮捕状の画像が送られてきたため、信じ込んでしまった。 ・さらに、検事を騙る男性から「詐欺に加担していないことを確認するため、全てのお金を調査する必要がある」 などと言われ、6回にわたり計3,060万円を指定口座に振り込んでしまったもの。
9	R7.12.22	嶺南	20代男性性	ニセ警察官詐欺 (電話)	現金34万円	被害者にニセ警察官から電話があり ・事件であなた名義のキャッシュカードを押収した ・このままではあなたは勾留される ・身の潔白を証明するため財務調査をする ・金融庁の監視する口座にお金を振り込むこと などと言われ現金34万円を騙し取られたもの。
10	R7.12.25	福井・坂井	40代女性	ニセ警察官詐欺 (電話、SNSビデオ通話)	現金100万円	被害者にニセ警察官から電話があり ・「詐欺グループの主犯の家宅捜索したらあなた名義のキャッシュカードが見つかった」「重要参考人として出頭してほしい」などと言われた ・その後、SNSのビデオ通話で警察官から「今後逮捕されるかもしれない」と告げられ、さらに検察官を名乗る男性からも「潔白を証明するために資金調査をする必要がある」 などと言われ、別々の場所のATMから2回に分けて指定口座に送金したものの。 被害者が携帯電話で通話しながら金融機関窓口で送金に関する確認をしたことから、不審に思った職員が警察に通報し被害者が分かった。
11	R8.1.9	嶺南	80代男性性	ニセ保健医療局・ニセ警察 官詐欺 (電話)	現金2139万円	被害者に保健医療局の職員を名乗る男性から連絡があった後、警察官や検事を名乗る男性らに代わり、ビデオ通話に誘導された。 ・「あなた名義の口座が悪用されている」「このままだと犯人になり、資産を差し押さえることになるため、一度こちらでお金を預かる必要がある」 などと言われ、男性は指定された口座に、5回にわたり現金合わせて2139万円を振り込んだもの。 その後、男性らと連絡が取れなくなり不審に思った被害者が警察に相談し被害が発覚した。

12	R8.1.15	県内	50代女性	二七通信事業者・二七警察官詐欺 (電話)	現金150万円	被害者に通信事業者や警察官を名乗る者から電話があり ・電話が2時間後に停止する ・あなたの携帯電話が犯罪に使われている ・身の潔白を証明するため紙幣番号を追跡する ・口座のお金を下して家の外に置き などと言われ、自宅に来た者に現金150万円を騙し取られたもの。
13	R8.1.19	嶺南	80代男性性	二七警察官詐欺 (電話)	現金500万円 金地金2200万円相当	被害者に警察官や検察官を名乗る者から電話があり ・「金融犯罪の被害金の一部があなたの口座に振り込まれている可能性がある。カネを確認する必要がある。カネは後で返す」などと言われた ・その後、男性の自宅にはスマートフォンが届けられ、ATMや銀行窓口で現金500万円を引き出すよう指示された上、約2200万円相当の金の延べ棒5本を購入するよう指示された ・その後、指定された場所に購入した金などを置いたところ、受け子とみられる人物に持ち去られたもの。 連絡が途絶えて返金されないことを不審に思った被害者が警察に相談し、今回の事件が発覚した。
14	R8.1.20	嶺南	30代女性	二七警察官詐欺 (電話、SNSビデオ通話)	現金160万円	二七警察官から、電話やSNSのビデオ通話を通じて ・「犯人があなたのキャッシュカードを買ったと言っている。あなたも犯人に浮上している」などと言われ、事情聴取を目的にSNSを使ったビデオ通話に誘導された。 ・その後、画面越しに男性から警察手帳を見せられ「被害者が振り込んだお金を見つける必要がある。今から言う口座にお金を振り込むように」 などと言われ、指定された口座に2回に分けて、現金合わせて160万円を振り込み、だまし取られたもの。 男性から「体にタトゥーが入っているか見せてくれ」などと言われたことで不審に思い、警察に相談したことで被害が明らかになった。
15	R8.2.11	福井・坂井	40代男性性	二七警察官詐欺 (電話)	現金628万円	被害者に二七警察官から電話があり ・「男性を逮捕したところあなた名義のキャッシュカードがあった。あなたには犯罪収益隠匿罪の容疑がかかっている」と連絡があった。 ・その後、検察官を名乗る男性から調査の名目で男性の口座の預金を全額送金するよう求められ、男性は指定された口座に銀行アプリで現金628万円を送金し騙し取られたもの。 その後、男性らと連絡が取れなくなったことから不審に思った男性が警察に相談し被害が発覚した。
16	R8.4.13	福井・坂井	70代男性	二七警察官詐欺 (電話)	金地金約3200万円相当	被害者は、警察官を名乗る男から自宅固定電話やスマートフォンの交流サイト(SNS)の通話機能を通じて「あなた名義の口座がマネーロンダリング(資金洗浄)に利用されている可能性があり、口座のお金を調査する必要がある」「定期預金を解約して金地金に換えてください」などと言われた。 指示通り、貴金属業者から金の延べ棒5本(計1.3キロ、購入金額約3200万円)を購入し、袋に入れて自宅敷地内の指定場所に置いたところ、何者かに持ち去られたもの。 男から延べ棒を後日返してもらう約束だったが、返ってこないため不審に思い、警察署に相談し被害が分かった。
17	R8.4.20	福井・坂井	50代男性	二七警察官詐欺 (電話)	現金780万円	被害者は、大手銀行の行員を名乗る人物から電話で「広島県であなたの口座が開設され詐欺に使われている」などと伝えられた後、広島県警の警察官を名乗る男から「被害届を受理する」と電話との電話を受けた。 その後、この警察官や検察官を名乗る男らと通信アプリでやり取りをする中で、資金調査の名目で大手銀行の指定口座に現金を振り込むよう指示され「調査が終わったら返金する」と言われたため、通話をつないだ状態でインターネットバンキングを利用し現金780万円を指定された口座に振り込んだもの。 通話を終えた後、被害者は着信が国際電話であることに気づき、詐欺を疑って広島県警に確認の電話をしたことから被害が発覚した。 被害者は詐欺の手口は知っていたが、矢継ぎ早に警察官や検察官を装った男らから指示され「冷静さを失った」とのことであった。